

環境調査結果のお知らせ

平成30年6月18日9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は23.6~25.0°Cで、前回調査時(H30.5.22)と比較して全層で2.3~3.9°C上昇していました。

塩分は20.4~31.3で、前回調査時と比較して全層で0.2~6.0上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.0~7.1mg/lで、前回調査時と比較して表層及び2m層で0.7~0.8mg/l上昇し、底層で0.4mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.5mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(°C)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.5.22)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	25.0	21.1	3.9
1m	24.5	22.0	2.5
2m	24.1	21.6	2.5
B-1	23.6	21.3	2.3

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.5.22)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	20.4	18.3	2.1
1m	27.2	21.2	6.0
2m	29.8	28.7	1.1
B-1	31.3	31.1	0.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.5.22)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	7.1	6.3	0.8
1m	6.8	6.8	0.0
2m	6.8	6.1	0.7
B-1	5.0	5.4	▲ 0.4

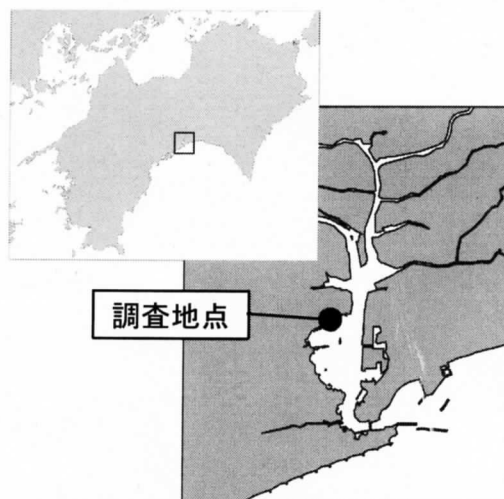


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	4.0	3.7
透明度	2.5	2.2

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステナム	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	1,200
1	0	0	0	0	6,000
2	0	0	0	0	12,000

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>